

# 櫻だより



氷見市立北部中学校  
校長室から  
令和7年2月5日

## まだまだ修行の身

氷見市の積雪は、県内では少ない方であったが、市内の全小中学校が休校となった。休校を喜ぶ人、悲しむ人、それぞれいると思うが、安全面を考慮しての措置である。休校となった時間を有意義に使おうと思う。

こんな日は電話も少ないと判断し、午前中は除雪機で正面玄関前などを除雪。延べ2時間ほど行ったが、吹雪いてきたため途中で断念。除雪機のテレビCMでは、快適に雪を飛ばしているが、今日の天候ではきつい。普段、用務員さんに雪の中の除雪を行ってもらっていることに感謝である。

午後からは、ゆったりとした時間を利用して読書の時間を少しとる。心に残った言葉を、自分自身が忘れないために書き留めておく。

「シュギョウには修業と修行がある。修業には卒業があるが、修行には卒行はない。むしろ深まるほどに足りない自分に気付く、というのが修行のあり方。無窮の精進を。」

青山俊董（あおやましゅんどう）愛知専門尼僧堂堂頭

深まるほどに足りない自分、ソクラテスの「無知の知」とよく似ているのだろうか。若い頃ほど、知ったかぶりであり、生意気だったように思う。私もまだまだ修行の身である。ただ、足りていない部分があり過ぎて…。

「できることを探すのがすごく重要で、挑戦しないことが一番のリスクだと思う。

また、『真面目＝しかめっ面』ではダメで、その中でいかに楽しめるか、遊び倒すか」

津田雄一 はやぶさ2プロジェクト・マネージャー

小惑星探査機を宇宙に飛ばすという事業は、何億円の事業だろう。その中で、楽しむ心、遊ぶ心をもって挑戦している姿が素晴らしい。ピンチの中でできることを探し、楽しむ。見習いたい心がけである。

「大変な時にネガティブに捉えて『あいつが悪い、こいつが悪い、世間が悪い』と思ったら、もっと状況は悪くなる。

『自分が成長するためのチャンスをくださった。ありがたい』と思ったところから道が開けてくる。」

渡邊直人 王将フードサービス社長

渡邊社長は、前社長が凶弾に倒れた事件後に社長を受け継いだ。当時は大変だったらしい。多くの人は、事件が起こると「誰それが悪い」と犯人捜しをする。ただ、犯人らしき人を見付けても問題は解決することはない。大事なのは、大変な状況にどう向き合うか。前向きに逃げない心をもつことが大切だろう。

それぞれの社会で地位を得てきた人たちの言葉は尊く、学ぶことが多い。まだまだ修行の身である。さ、もう一回除雪機と頑張ってきますか。